



## 染野芳郎氏が平成24年度関東農政局国営土地改良事業地区 営農推進功労者表彰において関東農政局長賞を受賞しました

平成24年12月14日(金), 関東農政局(さいたま新都心合同庁舎内)において, 平成24年度関東農政局国営土地改良事業地区営農推進功労者の表彰式が開催され, 染野芳郎氏(80才)(結城郡八千代町)が国営事業地区における事業及び営農推進に著しく功績のあった者等を表彰する関東農政局長賞を受賞しました。

この賞は関東農政局が, 国営土地改良事業地区において, 生産技術の向上と農業経営の改善のための創意工夫を意欲的に行うことによって, 他の模範となったもの, 地域の多様な担い手の育成に貢献したものの, 事業推進・営農推進に著しく功績のあったもの等を表彰しているものです。

染野氏は, 国営霞ヶ浦用水関連の畑地帯総合整備事業安静地区において, 畑地かんがい営農の先導的な取り組みを实践されるとともに, 他の畑地かんがい事業地区への推進にも尽力されました。

これまでいろいろご苦労があったかと思いますが, 本当におめでとうございます。

### 【国営霞ヶ浦用水地区の概要】

関係市町 : 下妻市外12市町  
受益面積 : 19,294ha  
受益戸数 : 33,181戸  
事業実施年度: 昭和55年度~平成20年度

### 【国営関連 県営畑総安静地区の概要】

関係市町 : 結城郡八千代町, 常総市(旧石下町)  
受益面積 : 305ha  
受益戸数 : 563戸  
事業実施年度: 昭和59年度~平成18年度

染野氏は安静地区県営畑地帯総合整備事業促進協議会会長や畑地かんがい営農の啓発・普及を図るための畑地かんがい先駆的実践者連絡協議会会長等としてご尽力頂いております。

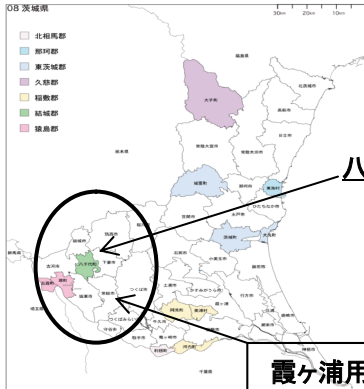


〈平成24年12月14日表彰式の様子〉

左写真: 前列左から3番目が染野芳郎氏, その左が奥様のみすいさん

功績の概要は以下のとおりです

# 整備された畑地かんがいを効果的に活用して 露地・施設野菜の多品目周年作付体系を確立



八千代町

霞ヶ浦用水地区

そのめ よしろう  
染野 芳郎  
【茨城県結城郡八千代町】

経営面積：27.62ha  
 主要作物：はくさい、キャベツ、  
 レタス、カリフラワー、  
 トウモロコシ、ねぎ、  
 加工用トマト、カラシナ、  
 ほうれんそう等  
 労働力：自家5人、雇用5人



## 事業を契機とした合理的な水利用営農

国営霞ヶ浦用水地区(S55～H20年)は、茨城県西南部の下妻市外10市2町にまたがり、飯沼川等の中小河川域に発達した水稲及び畑作を主体とした県下有数の農業地帯です。

当初は、陸稲、スイカ、かんしょ、タバコを作付していましたが、排水不良や干ばつに悩まされ、計画的な作付が困難でした。

国営事業や関連事業が行われたことにより、ほ場が整備され、大型機械の導入が可能となり作業効率が大幅に上昇しました。

また、畑地かんがい施設が整備されたことにより、露地・施設野菜における計画的な生産が確立され、栽培作物や生育時期に応じた合理的な水利用に取り組んでいます。



かん水チューブによる畑かん



大型機械を用いた収穫

## 多品目の野菜により周年作付体系を確立

かんがい施設の整備に伴い、1年を通じた収入の確保、連作障害の回避のため、露地では、春：キャベツ・レタス、夏：トウモロコシ、秋：はくさい・キャベツ・レタスを、施設栽培では、春：カラシナ、夏～冬：ほうれんそう等を作付しています。

粗収益は整備前の約15倍となり、高収益な周年作付体系の確立に寄与しました。



はくさいの栽培風景



ねぎの栽培風景

## 販路拡大の取組

生産物の販売は、農協系統への出荷の他、加工・業務用野菜の需要に対応した契約販売先を増やし、販路の拡大を図っています。

契約販売では、新鮮な野菜を迅速に届けるため、4.5tトラック2台を整備し、主に漬物加工場等へはくさい等を直送する等、多様なニーズに対応可能な輸送体制の整備に努めてきました。

その結果、現在は契約販売が出荷量の約5割を占めており、市場価格に左右されない安定的な収入を確保しており、「高収益な経営モデル」として地域の模範となっています。



はくさい収穫風景

## 畑地かんがい営農の積極的なPR

染野氏は、県内の畑地かんがいの利用推進を図るための畑地かんがい先駆的実践者制度である「畑かんマスター」県協議会会長として、平成16年から現在まで畑地かんがいの推進に尽力されました。

染野氏の畑地かんがい営農の取組は、隣接する国営事業地区等における畑地かんがいの営農推進への波及効果が期待されます。



講演会の様子



畑かんマスター出前講座の様子

染野氏の取組は、畑地かんがい営農の先導的な事例であり、地域内にとどまらず、他の畑地かんがい事業地区への波及効果が期待されます。